

2019年度 第5回 ライフステージ事例検討会 報告書	
日時	2019年11月5日(火) 17時45分～19時15分
開催施設 参加者数	金沢大学15名、富山大学8名、福井大学1名、石川県立看護大学5名、信州大学4名、 石川県済生会金沢病院2名、金沢市立病院0名、石川県立中央病院8名、 富山市民病院2名、富山労災病院2名、富山赤十字病院0名、 黒部市民病院2名、金沢医科大学氷見市民病院11名、富山県立中央病院1名、 合計61名
テーマ	「分子標的治療薬による皮膚症状で治療中断を希望されたがん患者への支援」
発表者	石川県立中央病院 藤川 直美さん
<p>【意見交換内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A氏が治療の中断を希望される理由など、思いを傾聴することが大切であると意見交換された。</li> <li>・A氏の日常生活やセルフケアの状況を確認することが必要であると意見交換された。</li> <li>・外来と病棟の情報共有の重要性について意見交換された。</li> </ul> <p>【他施設からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンケアの重要性について説明することが必要なのではないと思う。</li> <li>・休日や夜間など緊急時に相談できるところを紹介すると良かったかもしれない。</li> <li>・皮膚症状だけではなく、他の副作用も含めてアセスメントしていくことが大切だと思う。</li> <li>・家族からのサポートが得られるか確認が必要だと思う。家族のサポートを得ることが難しい場合には、訪問看護などを提案してもいいかもしれない。</li> </ul>	
ミニレクチャー	「分子標的治療薬による皮膚症状とケア」